



2025年 6 月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 駅 探
代表者名 代表取締役社長 菊井 健大
(コード：3646 東証グロース)
問合せ先 取締役 島田 零三
(TEL. 03-6367-5951)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況（改善期間）について

当社は2021年11月12日に「新市場区分における「グロース市場」選択及び上場維持基準の適合に向けた計画書について」を提出し、その内容について開示しております。2025年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の進捗および計画期間（改善期間）

当社は、移行基準日（2021年6月30日）において、時価総額がグロース市場の上場維持基準を充たしておらず、上場維持基準を充たすための取組みを進めております。当社の2025年3月末日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、時価総額が上場維持基準を引続き充たしておりません。

なお、時価総額基準について、2026年3月31日までの改善期間内に適合している（時価総額が40億円以上である）ことが確認できなかった場合には、2026年3月31日に東京証券取引所より整理銘柄に指定されます。

ただし、潜在株式がある場合には、2026年3月31日に監理銘柄（確認中）に指定され、2026年3月31日時点の上場株式数が確定し時価総額基準に適合していなかった（時価総額が40億円未満であった）場合に整理銘柄に指定され、当社株式は2026年10月1日に上場廃止となります。

		流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況	2021年6月末時点	28,951 単位	15 億円	42.4 %	35 億円
	2023年3月末時点	29,004 単位	14 億円	48.2 %	29 億円
	2024年3月末時点	28,781 単位	10 億円	47.8 %	21 億円
	2025年3月末時点	26,779 単位	9 億円	44.5 %	21 億円
上場維持基準		1,000 単位	5 億円	25.0 %	40 億円
計画書に記載の項目					○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

(ご参考) 時価総額の基準日時点の状況

21 億円 = 株価 (※) 361.84 円 × 株式数 6,018,800 株

※株価は事業年度の末日以前 3 か月間 (2025 年 1 ～ 3 月) の日々の終値の平均値

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の方針、課題及び取組内容

(1) 事業戦略の推進

当社は、時価総額の適合に向けて、グループの事業資産を最大活用し、「地域の生活者のニーズ」と「地域の事業者の提供サービス」を結びつけ、新たな収益の柱を創出する、各事業セグメントを包括する取り組みである「地域マーケティングプラットフォーム (以下、「RMP (Regional Marketing Platform)」という。)」構想を掲げ、以下の事業戦略を実現することにより、企業価値向上を図ってまいります。

① RMP メディアの強化

RMP メディアにおいては、地域コンテンツ、移動コンテンツの拡充、乗換案内と関連性が高いアフィリエイトの追加などを行い、PV、UU、広告収入は順調に拡大してきております。さらにユーザビリティの向上、新機能の追加、広告効率の改善などを目的としたサイト・アプリのリニューアル、インバウンド向けのサービス強化を行うことで、さらなる収益拡大を図ってまいります。

② RMP ソリューションの拡大

RMP ソリューションにおいては、当社が提供する「MaaS (Mobility as a Service) パッケージ」の強化、SaaS 型の CRM ツール「LineON (ラインオン)」の提供を開始、株式会社ラテラ・インターナショナルが提供する紙面の広告媒体である「エリアマップ」の地域拡充、また、Twitter、LINE、Instagram などに集客を目的とした SNS キャンペーンを簡単にセッティングが行えるツール「Atatter」を提供している株式会社音生の子会社化などを行い、順調にソリューション強化が進んでおります。さらには、自治体、地域事業者と取引のある企業との業務提携、さらなるソリューションの追加などを行い、サービス強化を推進してまいります。

(2) 株価向上施策の推進

事業戦略実現による企業価値向上を図るとともに、自己株式の買取・消却、配当政策、効果的な IR ニュースのリリースなど、株価向上に資する取り組みを積極的に推進してまいります。

3. スタンダード市場への新規上場の検討

当社は上述のとおり、引き続き、グロース市場の上場維持に努めてまいります。平行して、スタンダード市場への新規上場を検討してまいります。この進捗状況につきましては、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上